



第2次伊豆市総合計画
基本構想・後期基本計画

2016—2025

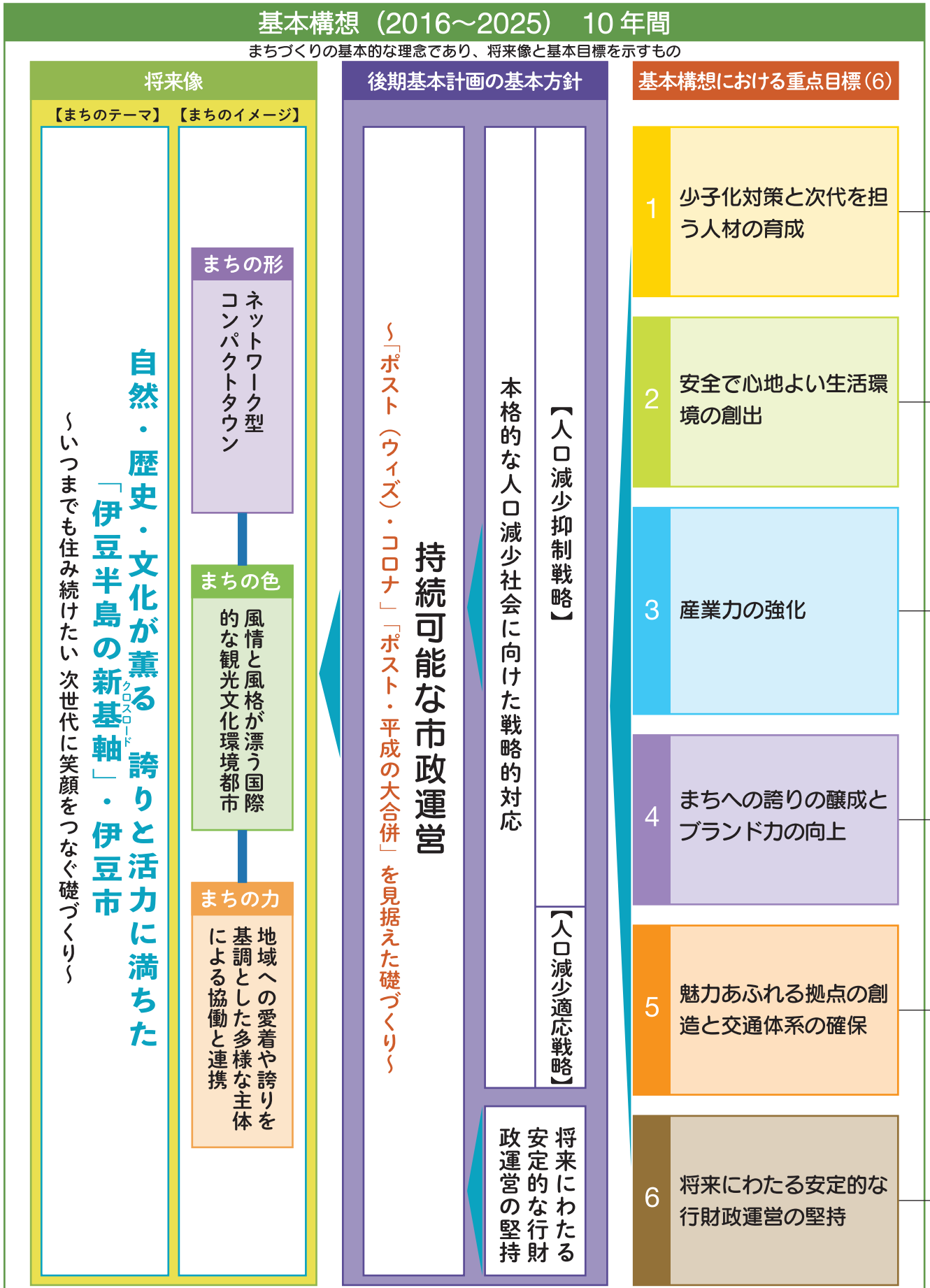
概要版



第2次伊豆市総合計画 体系図

基本構想（2016～2025） 10年間

まちづくりの基本的な理念であり、将来像と基本目標を示すもの



後期基本計画（2021～2025） 5年間

基本構想における将来像や基本目標を踏まえた施策の基本的方向や体系を示すもの

政策（12）

施策（25）

1 結婚から子育てまで切れ目ない支援

- 1 少子化突破と「育てて育つ」の推進
- 2 若者・ファミリー層の移住・定住の促進

2 教育の充実

- 1 多様化する社会に対応する教育環境づくり
- 2 未来を拓く子どもたちを育む学校環境づくり

1 福祉・医療の充実

- 1 共に支え合う地域福祉の推進
- 2 伊豆市版地域医療体制の構築

2 安全・安心なまちづくりの推進

- 1 災害などリスクに強いまちづくり
- 2 持続可能な環境未来都市の実現

1 地域の魅力の創造
「地域産業の発展による市内経済の活性化」

- 1 東京 2020大会を契機としたレガシーの継承
- 2 伊豆市版DMOによる観光地域づくりの推進
- 3 企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化

2 地域の魅力の創造
「豊富な農林水産資源の再構築」

- 1 農林水産資源の多面的な活用
- 2 日本一の「わさびの郷」の創出と未来への継承

1 地域の魅力の創造
「人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現」

- 1 まちづくりの多様な担い手の育成
- 2 新たな交流人口の創出

2 地域の魅力の創造
「伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成」

- 1 伊豆市が誇る文化・芸術資源の活用
- 2 ふるさとの魅力を学ぶ機会の創出

1 未来を切り拓くためのまちづくり

- 1 中心市街地への都市機能の集約
- 2 適正な宅地化の誘導

2 地域力の向上

- 1 開かれた地域づくりの推進
- 2 地域生活交通の維持

1 安定した歳入の確保

- 1 収納対策の強化
- 2 財源の確保

2 徹底した歳出の抑制

- 1 公共施設の適正化
- 2 事務事業の見直し

基本方針

持続可能な市政運営

～「ポスト（ウイズ）・コロナ」「ポスト・平成の大合併」を見据えた市政運営の礎を築く～

後期基本計画の取組の展開にあたっては、「ポスト（ウイズ）・コロナ」「ポスト・平成の大合併」を見据えた持続可能な市政運営の礎を築くことを基本理念として2本柱を掲げ、4つの戦略のもと取り組んでいきます。

1 本格的な人口減少社会の到来に向けた戦略的対応

戦略1

人口減少の抑制戦略

人口減少の急激な進行を抑制し、市民がより便利で幸せな生活を追求していくための戦略として、少子化対策と次代を担う人材の育成を図り、安全で心地よい生活環境の創出や産業力の強化などを図ります。

戦略2

人口減少の適応戦略

人口規模がある程度縮小しても市民が引き続き安心して暮らせるための戦略として、「ネットワーク型コンパクトタウン」によるまちづくりを推進し、魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保などを図ります。

2 将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

戦略3

安定した歳入の確保

自主財源の中心である市税について収納率を高めるとともに、ふるさと納税を中心に市外から資金を確保するためのシティセールスを強化します。

戦略4

徹底した歳出の抑制

既存事業の見直しによる効率化や徹底した歳出抑制を図り、民間のノウハウを活用した業務のアウトソーシング化などによって、歳出の抑制を進めていきます。

後 期 基 本 計 画 の ポ イ ン ト

後期基本計画を着実に実行していくため、目標設定の考え方や進捗管理の方法、行財政運営などの考え方を一新し、4つのポイントを設定して取り組んでいきます。

各政策における「政策目標」、各施策における「ありたい姿」の設定

行政が取り組むべき活動や成果といった「アウトプット※1」を目標とするのではなく、「政策目標」や「市民と共有したいありたい姿」に明記した「アウトカム※2」を目標としています。

※1 アウトプット
施策や事業をどれだけ実施したのかなどの行政活動の成果を表す指標。
※2 アウトカム
最終的に市民が得られる効果や満足度などを表す指標。

【例】
〈アウトプット〉
都市公園を〇〇ha整備する（行政活動の成果）
〈アウトカム〉
緑豊かなまちに住んでいると感じる人の割合が増える（市民が得られる効果）

地区別将来構想の設定

コンパクトタウン&ネットワークの考え方及び「人口減少の抑制戦略」と「人口減少の適応戦略」の考え方にに基づき、拠点性の高いエリアにおける更なる人口減少対策を進めるために、将来構想図を作成しました。

各部局における重点事業の設定

『持続可能な市政運営』に向け、「総合計画は市民への伊豆市役所の公約である」との認識に立って、今後5年間の計画期間中に各部局が取り組む革新的・挑戦的な事業（重点事業）を主な取組に明記しました。

基本構想に新たな重点目標を位置づけ

行財政改革に関する重点目標を基本構想に新たに位置づけました。
後期基本計画における「12の政策と25の施策」の推進にあたっては、将来にわたって安定的な行財政運営が堅持されるよう努めていきます。

重点目標

1

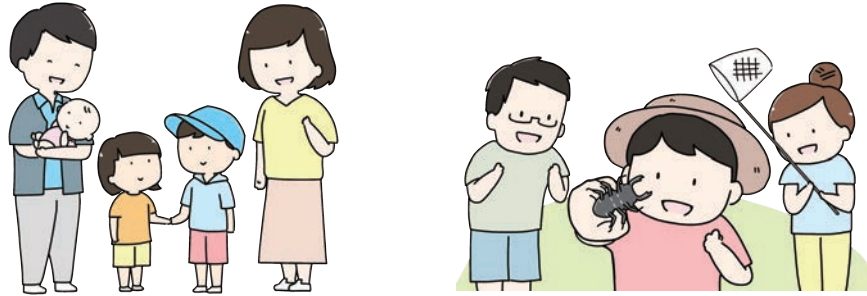
少子化対策と次代を担う人材の育成

1

結婚から子育てまで切れ目ない支援

政策目標

「安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり」



子育て環境に対する満足度 ▶ 向上
結婚や子育てに伴う若者の転入者 ▶ 増加

【主な取組】（抜粋）

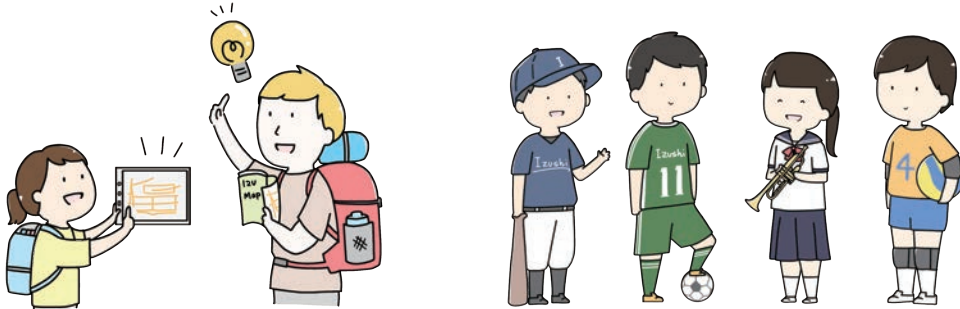
- 婚活事業者のノウハウを活用したイベントの実施
- AIを活用した婚活マッチング支援
- さらなる移住希望者獲得に向けた“美しい邑のお試し住宅”の創出
- 鉄道駅周辺や土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺への住宅地の創出

2

教育の充実

政策目標

「子ども達が健やかに学び育つ教育環境の充実」



教育環境に対する満足度 ▶ 向上
ICTを活用した地域や学校間の連携 ▶ 強化

【主な取組】（抜粋）

- “EdTech”（エドテック）教育の推進による学びの機会の拡充
- 新中学校の建設（令和7年4月開校予定）
- 子どもの生きる力を育む“実学教育”の支援
- 市内学校におけるバス待ち環境の整備

重点目標

2

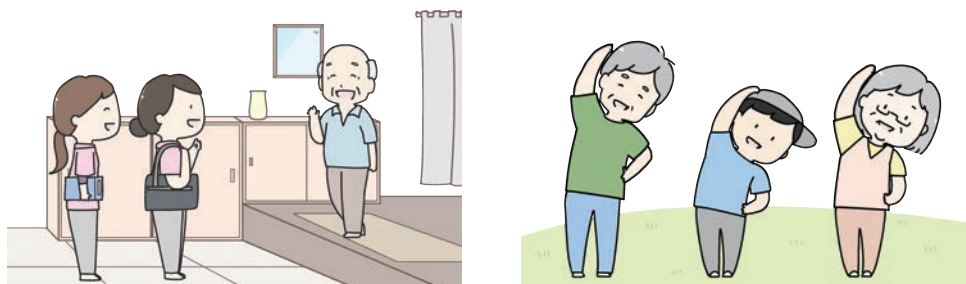
安全で心地よい生活環境の創出

1

福祉・医療の充実

政策目標

「安心して暮らせる福祉・医療の充実」



福祉・医療に対する満足度 ▶ 向上
特定健診・がん検診の受診率 ▶ 向上

【主な取組】（抜粋）

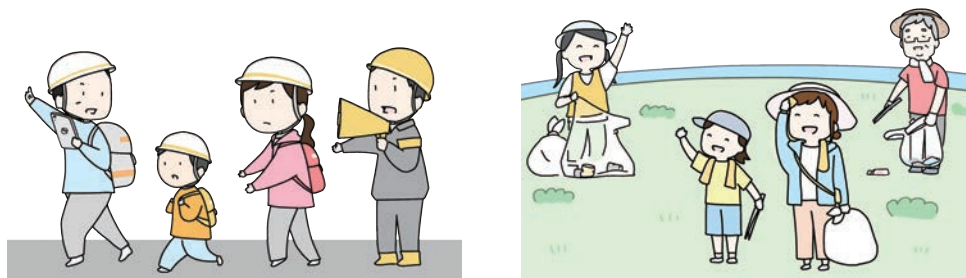
- 移動支援や買い物弱者を支援する体制づくり
- 生活支援の担い手としての社会参加の促進
- “伊豆市版地域医療対策事業” の推進
- 中伊豆温泉病院の移転・新築支援（令和5年度開院予定）

2

安全・安心なまちづくりの推進

政策目標

「市民の生命と財産を守る体制や基盤づくり」



土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）内の被害 ▶ 死者ゼロ
環境に配慮したまちづくりの満足度 ▶ 向上

【主な取組】（抜粋）

- 津波避難複合施設の建設（令和5年度完成）
- （仮称）日向公園の整備（令和7年度完成）
- 新ごみ処理施設の建設（令和4年度完成）、新リサイクルセンターの整備（令和6年度完成）
- カーボンニュートラルへの取組の推進

重点目標

3

産業力の強化

1

地域の魅力の創造「地域産業の発展による市内経済の活性化」

政策目標

「未来につなげる産業構造の構築と持続的な発展」



観光消費額・宿泊客数・観光入込客数 ▶ 増加
起業創業・企業立地件数 ▶ 増加

【主な取組】（抜粋）

- 東京 2020 大会を契機としたレガシーの継承
自転車競技会場の聖地化／“サイクリストの拠点” 整備／市民の自転車乗れる率 100%
- 伊豆市版 DMO による観光地域づくりの推進
“伊豆市固有” の魅力的な地域資源を活用した新しい観光の仕組みの構築

2

地域の魅力の創造「豊富な農林水産資源の再構築」

政策目標

「農林水産業の競争力強化」



特産品の出荷額 ▶ 増加
新規就農・就業者数 ▶ 増加

【主な取組】（抜粋）

- 農業委員会と連携した農地取得の下限面積の引き下げや“農地付き空き家”の提供
- 日本一の「わさびの郷」の創出と未来への継承
地理的表示保護制度（GI）などを活用したわさびの保護・ブランド化／“わさびの郷”の拠点整備と情報発信

重点目標

4

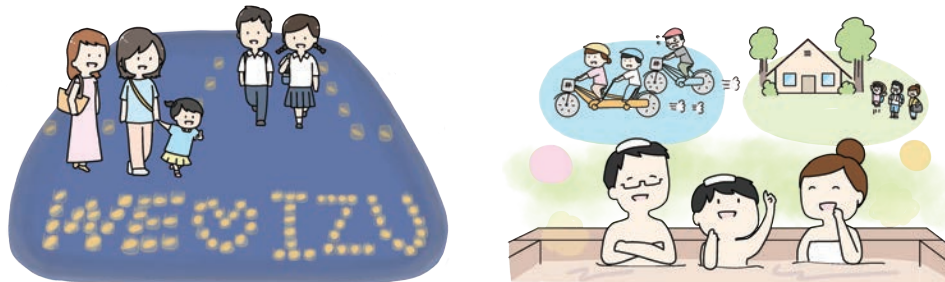
まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

1

地域の魅力の創造「人の流れを呼び込む魅力的な暮らしの実現」

政策目標

「市民の生き生きとした生活がさらなる人の流れを呼び込む好循環の構築」



移住定住者数 ▶ 増加
魅力的なヒト・モノ・コトの発掘数 ▶ 増加

【主な取組】（抜粋）

- “Izu Connect” の構築と活用、マッチング支援
- 空き別荘などの活用によるテレワークや二拠点居住の推進
- 空き家バンクの活性化

2

地域の魅力の創造「伊豆市に住むことの愛着や誇りの醸成」

政策目標

「市民が誇りを持ち、人々を惹きつけ、暮らしてみたいと思われる地域の実現」



伊豆市への愛着度 ▶ 向上
住み続けたいと思う人の割合 ▶ 向上

【主な取組】（抜粋）

- “文学の郷” の拠点化
- 伊豆市ならではの自然や歴史を学ぶ“ふるさと学級”の充実
- 図書館事業の充実に向け、赤ちゃんや小さな子ども連れの親子が利用しやすい機会を提供する“ベビータ임”の拡充

5

魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

1

未来を切り拓くためのまちづくり

政策目標

「人口減少・高齢化が進む社会下でも維持できる生活拠点の形成」



居住環境に対する満足度 ▶ 向上

修善寺・土肥・天城湯ヶ島・中伊豆の各拠点地域における必要な都市機能 ▶ 維持

【主な取組】（抜粋）

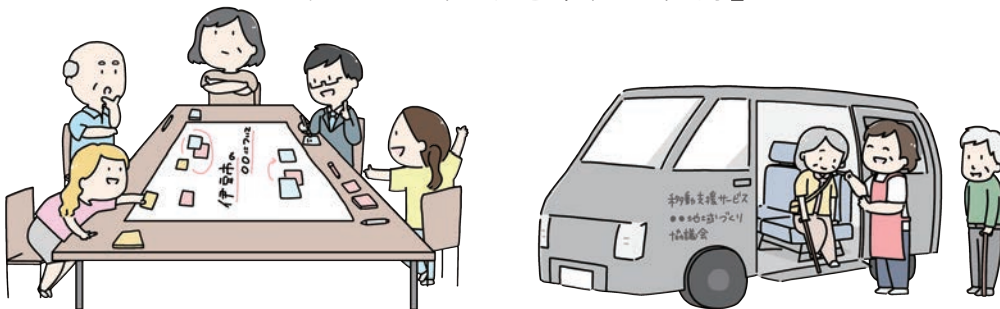
- 牧之郷駅周辺整備（令和5年度完成）
- 駅前地区周辺や温泉場地区周辺の良好な居住環境の創出
- 土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺にある活用可能空き家の積極的な活用

2

地域力の向上

政策目標

「地域の独立性や連帯性の維持」



地域づくり協議会の独立性 ▶ 向上

自治会組織（区・郷）の効率化 ▶ 向上

【主な取組】（抜粋）

- 地域づくり協議会の自立に向けた支援
- LGBTsの尊重
- 地域づくり協議会や交通事業者と連携した輸送サービスの確保

6

将来にわたる安定的な行財政運営の堅持

1

安定した歳入の確保

政策目標

「健全な行財政運営の堅持」



市税収納率 ▶ 向上

市の稼ぐ力（ふるさと納税・企業版ふるさと納税等） ▶ 向上

【主な取組】（抜粋）

- 電子マネーなどで納付できる納税手段の拡充
- シティセールスの強化

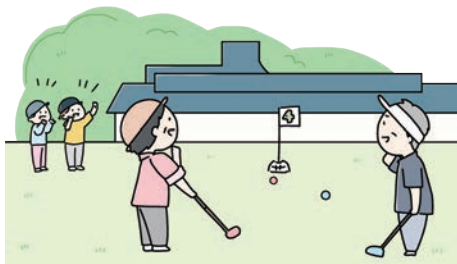
ふるさと納税の拡充／企業版ふるさと納税の獲得／企業誘致・留置のための営業活動／移住・定住の促進

2

徹底した歳出の抑制

政策目標

「最適かつ効率的な事務執行」



事務事業の業務効率化 ▶ 向上
各会計の財政収支均衡効 ▶ 維持

【主な取組】（抜粋）

- 大胆な選択と集中
公共施設の整理統合／民間活用の検討
- “包括的アウトソーシング”の推進
- スマートシティの実現に向けた“自治体DX”の推進

第2次伊豆市総合計画
基本構想・後期基本計画
2016—2025

概要版

発行 令和3年10月
編集 総合政策部企画財政課
〒410-2413 静岡県伊豆市小立野38-2
TEL 0558-72-9873 FAX 0558-74-3067
URL <http://www.city.izu.shizuoka.jp/>



第2次伊豆市総合計画 基本構想・後期基本計画に関する詳しい内容は
伊豆市ホームページからご覧いただけます。